

平成30年度
学校自己評価報告書

令和元年7月

学校法人阿佐ヶ谷学園
阿佐ヶ谷美術専門学校

学校の教育目標

本校の目的は、アートやデザインの教育を以って理想的真、善、美の世界を現実化することにある。そのプロセス、成果によって、社会及び世界に貢献しようとする。その為には精神の自由が必要であり、それは総合性によって得られ、また人間は自然の一員として、そこから学び、それらを通し成業を果たし、成就へと向かう。

本年度（2018年度）の教育目標

- ・ 学科ごとの良質なカリキュラムの設定
- ・ 就職や仕事に結びつく効果的な授業
- ・ 学生の学びを応援できる充実した施設環境の整備
- ・ 地域に密着した授業構成

実施体制

常勤教職員全員（一部非常勤職員）により実施

各評価項目に対する評価

4:適切 3:ほぼ適切 2:やや不適切 1:不適切

(1).教育理念・目標

評価項目	評価(4~1)
・学校の理念・目的・育成人材像は定められているか(専門分野の特性が明確になっているか)	4
・学校における職業教育の特色は定められているか	4
・社会経済のニーズ等を踏まえた学校の将来構想を抱いているか	3
・学校の理念・目的・育成人材像・特色・将来構想などが学生・保護者等に周知されているか	3
・各学科の教育目標、育成人材像は、学科等に対応する業界のニーズに向けて方向づけられているか	3

①課題

社会に必要とされる人材の育成における教育の実現。業界のニーズと学生のモチベーションとのバランス。

②今後の改善方策

業界との接点の強化、学習上の達成目標の学生との共有。2年次以降、専門性をより高める授業、時間数を組む。
社会に馴染めないタイプの学生に対するカリキュラム、環境が必要。
学科編成変更後の特色の明確化。

③特記事項

(2).学校運営

評価項目	評価(4~1)
・ 目的等に沿った運営方針が策定されているか	3
・ 運営方針に沿った事業計画が策定されているか	3
・ 運営組織や意思決定機能は、規則等において明確化されているか、有効に機能しているか	3
・ 人事、給与に関する規程等は整備されているか	3
・ 教務・財務等の組織整備など意思決定システムは整備されているか	2
・ 業界や地域社会等に対するコンプライアンス体制が整備されているか	3
・ 教育活動等に関する情報公開が適切になされているか	3
・ 情報システム化等による業務の効率化が図られているか	3

①課題

職員全体での決定事項の意思疎通について。事業範囲の明確化。

②今後の改善方策

責任の所在の明確化。組織の業務フローの確認。

③特記事項

(3).教育活動

評価項目	評価(4~1)
・教育理念等に沿った教育課程の編成・実施方針等が策定されているか	3
・教育理念、育成人材像や業界のニーズを踏まえた学科の修業年限に対応した教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか	3

・ 学科等のカリキュラムは体系的に編成されているか	3
・ キャリア教育・実践的な職業教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法の工夫・開発などが実施されているか	3
・ 関連分野の企業・関係施設等や業界団体等との連携により、カリキュラムの作成・見直し等が行われているか	2
・ 関連分野における実践的な職業教育(産学連携によるインターンシップ、実技・実習等)が体系的に位置づけられているか	3
・ 授業評価の実施・評価体制はあるか	2
・ 職業教育に対する外部関係者からの評価を取り入れているか	2
・ 成績評価・単位認定、進級・卒業判定の基準は明確になっているか	3
・ 資格取得等に関する指導体制、カリキュラムの中での体系的な位置づけはあるか	2
・ 人材育成目標の達成に向け授業を行うことができる要件を備えた教員を確保しているか	3
・ 関連分野における業界等との連携において優れた教員(本務・兼務含む)を確保するなどマネジメントが行われているか	3
・ 関連分野における先端的な知識・技能等を修得するための研修や教員の指導力育成など資質向上のための取組が行われているか	2
・ 職員の能力開発のための研修等が行われているか	2

①課題

授業の評価制度を実施していない。教員の研修制度

②今後の改善方策

授業の評価制度の実施。教員の研修制度の実施

③特記事項

(4).学修成果

評価項目	評価(4~1)
・就職率の向上が図られているか	3
・資格取得率の向上が図られているか	2
・資格取得率の向上が図られているか	3
・卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか	4
・卒業後のキャリア形成への効果を把握し学校の教育活動の改善に活用されているか。	3

①課題

卒業後の学生の状態について、把握しきれていない。
資格取得については実施していない。
就職に対するモチベーションが低い学生への対応

②今後の改善方策

卒業後にも学校に関わりやすいプラットフォーム作り。
授業で身につけた技能と関連する資格についてのアナウンス。
キャリア関係の授業の増設。

③特記事項

(5).学生支援

評価項目	評価(4~1)
・進路・就職に関する支援体制は整備されているか	3
・学生相談に関する体制は整備されているか	4

・ 学生に対する経済的な支援体制は整備されているか	3
・ 学生の健康管理を担う組織体制はあるか	3
・ 課外活動に対する支援体制は整備されているか	2
・ 学生の生活環境への支援は行われているか	3
・ 授業評価の実施・評価体制はあるか	3
・ 卒業生への支援体制はあるか	3
・ 社会人のニーズを踏まえた教育環境が整備されているか	3
・ 高校・高等専修学校等との連携によるキャリア教育・職業教育の取組が行われているか	3

①課題

就職支援、経済支援の強化が必要。
 学生相談、保健室などの環境の不足。
 社会人として最低限のマナー教育。
 社会人と3年制のニーズのマッチング。
 奨学金について、学生相談、学生の課外活動

②今後の改善方策

学生相談と休む場所の分離。カウンセリング、面談等に関する委員会の設置。
 奨学金の見直し。課外活動の委員会を設置する。高校教員研修会の実施。

③特記事項

(6).教育環境

評価項目	評価(4~1)
・ 施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか	3
・ 学内外の実習施設、インターンシップ、海外研修等について十分な教育体制を整備しているか	3
・ 防災に対する体制は整備されているか	3

①課題

防災に対する整備、研修等。

②今後の改善方策

学校内で保管する物の管理。
 耐震工事実施中。地震避難マニュアルの作成。地震発生時の予行演習。

③特記事項

建物の構造的に障害者への配慮が難しい点がある。

(7).学生の受け入れ募集

評価項目	評価(4~1)
・ 学生募集活動は、適正に行われているか	4
・ 学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか	3
・ 学納金は妥当なものとなっているか	4

①課題

消費税増への対応。広報スタッフ数について。

②今後の改善方策

広報スタッフの募集。

③特記事項

(8).財務

評価項目	評価(4~1)
・ 中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか	3
・ 予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか	3
・ 財務について会計監査が適正に行われているか	3
・ 財務情報公開の体制整備はできているか	3

①課題

学校全体の予算計画について。

②今後の改善方策

学校全体の予算計画の周知。

③特記事項

(9).法令等の遵守

評価項目	評価(4~1)
・ 法令、専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか	3
・ 個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか。	3
※・ 自己評価の実施と問題点の改善を行っているか。	-
※・ 自己評価結果を公開しているか。	-

①課題

個人情報保護について。名簿管理等。
留学生の入学資格について

②今後の改善方策

個人情報保護についての全体での整合性。名簿管理、保持、破棄の時期などを検討。
留学生の入学資格の設定の確認。

③特記事項

※初回の自己評価の為、評価該当なし

(10).社会貢献・地域貢献

評価項目	評価(4~1)
・ 学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか	4
・ 学生のボランティア活動を奨励、支援しているか。	3
・ 地域に対する公開講座・教育訓練(公共職業訓練等を含む)の受託等を積極的に実施しているか。	3

①課題

地域連携の更なる推進。

②今後の改善方策

公開講座やイベント等の実施。リカレント教育プログラムの見直し。

③特記事項

(11).国際交流(必要に応じて)

評価項目	評価(4~1)
・留学生の受入れ・派遣について戦略を持って行っているか	3
・留学生の受入れ・派遣、在籍管理等において適切な手続き等がとられているか。	4
・留学生の学修・生活指導等について学内に適切な体制が整備されているか。	3
・学習成果が国内外で評価される取組を行っているか。	3

①課題

留学生の受入れ・派遣についての設定、戦略。

②今後の改善方策

各国語での案内の明文化等。

③特記事項

留学生に対する対応状況は向上している。

学校評価の具体的な目標や計画の総合的な評価結果

学校評価を毎年定期的かつ真摯に実施することにより、社会と学校、学生の状況を速やかに把握し、具体的に各部門を数値化することによって、分析しやすい状態をつくっていく。またこのデータにより、教職員の意識を高め、問題点をよく検討していくことにより、より良い本校と社会、本校の教職員、本校と学生との関係を築いていく。現在の自己評価では概ね一定の評価がある一方、組織の意思決定や人材配置のバランス、教員研修や資格取得、学生の課外活動に対する支援など、まだまだ課題を残すところもあり、今後善処できるよう努めたい。